



Daiwa Logistics
大和ハウスグループ

News Letter

2021年2月12日

報道関係各位

大和物流株式会社
代表取締役社長 木下 健治
大阪市西区阿波座一丁目5番16号

■北陸エリアで当社最大の物流施設を開発 「(仮称)金沢・白山物流センター」を着工します

大和ハウスグループの大和物流株式会社（本社：大阪市西区、社長：木下 健治）は、2021年2月15日、石川県白山市において物流施設「(仮称)金沢・白山物流センター」を着工します。



【完成予想図】

1. 開発の背景

当社は、北陸エリア（富山県、石川県、福井県）において、物流不動産^{※1}を含め5カ所の物流センター（総延床面積約 31,534.61 m²）を運営していますが、各拠点ともに満床状態が続いています。同エリアでは今後も継続的に物流需要が見込めることから、このたび新たな物流施設「(仮称)金沢・白山物流センター」（以下「本センター」）の開発に着手することとしました。

本センターは2022年3月末の竣工を予定しています。

※1. 賃貸用物流施設

2. 本センターの特長

(1) 「美川IC」から約2km、北陸エリアで当社最大の物流施設

本センターは、地上2階建て、延床面積23,800㎡（約7,199.50坪）と、北陸エリアでは当社最大の物流施設となります。北陸エリアの主要都市に直結する北陸自動車道の「美川IC」から約2.0km、「徳光スマートIC」から約3.1kmに位置し、エリア内の配送拠点や、首都圏、中京圏、近畿圏への広域配送拠点としても活用できます。



【広域図】



【周辺図】

(2) 保管効率と利便性を追求した施設仕様

本センターは、全フロア床荷重 2.0t/m²、梁下有効天井高 5.5m 以上、柱間隔 10m 以上を確保します。また、倉庫内には貨物用エレベーター4 基と垂直搬送機 2 基を設置するため、効率的に貨物を搬送することが可能です。

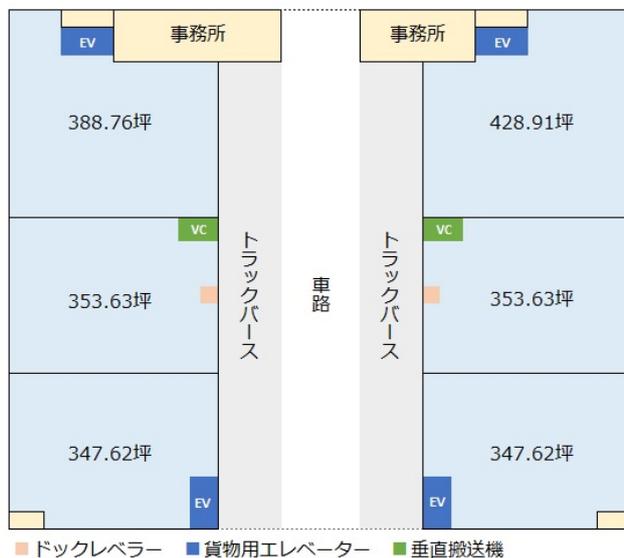
1 階は中央車路方式を採用し、天候に左右されることなく入出庫が可能です。また、大型車両が 28 台同時接車可能なトラックバース^{※2}を有しています。

トラックバースは、湿気に強く埃も入りにくい高床式ホームを採用し、ドックレベラー^{※3}を 2 基完備するため、海上コンテナやロールボックスパレット^{※4}など多彩な貨物の取扱いが可能です。

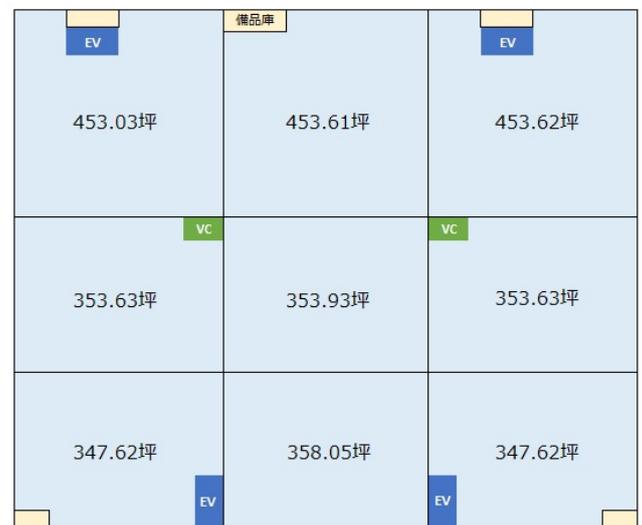
※2. 荷物の積卸しをするためにトラックを接車するスペース

※3. 建物の搬入口と車両の荷台との高低差をなくすための装置

※4. かご形状のキャスター付き荷役台のこと



【1階平面図】



【2階平面図】

3. 運営について

本センターは、北陸エリアの主要物流拠点として当社が運営してまいります。充実した施設仕様と交通利便性を活かし、保管・在庫管理はもちろん各種流通加工や共同配送など幅広いニーズに対応し、北陸エリアにおける物流事業のさらなる拡大に取り組めます。

4. 施設概要

名 称	大和物流株式会社「(仮称) 金沢・白山物流センター」
所 在 地	石川県白山市松本町 889 番他 37 筆
敷 地 面 積	22,879.50 m ² (約 6,291.05 坪)
延 床 面 積	23,800.00 m ² (約 7,199.50 坪)
構 造 ・ 規 模	鉄骨造地上 2 階建・高床式
床 荷 重	2.0t/m ²
搬 送 設 備	貨物用エレベーター4 基 (3.5t : 3 基、4.5t : 1 基) 垂直搬送機 2 基 (2.0t)
最 寄 り I C	北陸自動車道「美川 IC」から約 2.0km
最 寄 り 駅	JR 北陸本線「加賀笠間駅」から約 2.0km
設 計 ・ 施 工	大和ハウス工業株式会社
着 工	2021 年 2 月 15 日
竣 工	2022 年 3 月 31 日予定
稼 働	2022 年 4 月 1 日予定
U R L	http://www.daiwabutsuryu.co.jp/center/kanazawa-hakusan

●大和物流について

当社は 1959 年に大和ハウス工業株式会社の物流子会社として設立し、今年で創立 62 年を迎えます。建築・建材物流をコア事業とした総合物流事業のほか、お客さまのニーズに合わせた物流施設開発を全国で進め、現在、自社で管理・運営する物流施設は、95 カ所・総延床面積約 28 万坪 (2020 年 12 月末時点) に上ります。また、日本国内のみならず、グローバルへの展開も積極的に進めています。

以 上

お問い合わせ先

経営企画室 06-4968-6372